



社会福祉法人 村山苑

# 村山苑だより



## 「新年度を迎えて」

つほみ保育園 園長 佐久間 文子



令和四年度がスタートしました。新しい生活を始めて一ヶ月が経ちました。一ヶ月前は、桜が満開でしたが、今は新緑が目眩しく、季節も進んでいます。

さて、今年村山苑は創立七十周年を迎えます。コロナ前は、毎年新入園児説明会の一番初めに「戦後、ここは現在の村山苑 陸軍少年通信兵学校で、村山昭和寮が村山苑の始まりです」と理事長が村山苑の成り立ちを話されていました。今から七十年前小さな施設から始まり、今では十施設に増え、少しずつ形を変えながら歴史を刻んでいます。「戦後？」今もニュースで紛争の報道があり、世界の中には「戦後」になっていない国もある状況です。争い事だけでなく貧困問題・環境問題等、様々なことが今の世の中にはあります。園で歌う歌の中に「世界中の子どもたちが一緒に笑ったら空も笑うだろう海も笑うだろう」と歌詞があります。世界で平和で幸せな時代を、皆が笑って生きていくことを思っている歌詞だと思うと、争い事が早く無くなつて欲しいと願います。

この様に、様々なことが起こり多様化している時代。また少子高齢化が進むこの先、その多様性に対応できる柔軟な人材を育てていく事が、園の存続そして発展に必要な不可欠だと思います。「人に言われる前に周りを見て自分で気づき考えて仕事を行う」そうした人材育成が求められています。「保育の質」を問われる今、若い方もベテランの方も、お互い持っている力を上手く発揮し援助し合い、利用者の方を見守ることが出来ればきっと「地域に密着した施設」になれるのではないかと考えます。今までの七十年の歴史も大切に、これから先、職員が人間愛をもって様々なことに取り組み続けて行き、更には地域貢献が出来るよう皆で協力し合い、頑張っていきたいと思っております。

社会福祉法人村山苑 中期計画（令和4年度～令和8年度）

1. はじめに

村山苑は、現在、高齢者施設（特別養護老人ホーム2か所、在宅福祉事業1か所）、障害者施設（障害福祉サービス事業所1か所）、生活保護施設（救護施設2か所）、児童福祉施設（保育所4か所）を運営している。このように、高齢、障害、生活保護、保育の4種別の事業を展開していることから、社会福祉法をはじめ、それぞれの事業が関係する法令に基づいて経営しなければならない。目まぐるしい社会経済の変化によって、社会福祉分野においても介護保険制度や障害者自立支援給付制度の報酬の改定、また、生活保護法の改正や生活困窮者に関する新たな法律の創設、保育所に関する制度の見直し等、経営環境が常に変化している状況にある。

令和4年度に創立70周年を迎えるにあたり、更なる安定した法人経営を継続するために、法人を取り巻く環境を踏まえ、「目指すべき将来像」へ到達するために、組織として取り組むべきことを示した「道しるべ」とも言える中期計画を策定する。策定にあたっては、法人の基本理念のもと、各種別・施設の現状を分析し、5年後の目指す姿を明確に示す。

第1章 基本理念・基本方針

1 法人基本理念

村山苑が福祉サービスを必要とするすべての人々に、その人の人格の尊厳を守り、その人の環境、年齢及び心身の状況に応じて本来の生活を築き、生命の輝きを見出すことのできる福祉サービスを提供することである。

この理念の根底にあるものは人間愛であり、それに基づく社会的公正と人権擁護の実現を目指し、必要とするものに必要な福祉サービスを提供し、共に生きていこうとする志である。

村山苑が発展しすぐれた施設を形成する道は、この職場で働くわれわれがそうした使命を誇りとし、すべての人々と共に生きようとする志をあきらかにしていくことである。また、これを単なる抽象的な表題として終わらせることなく、この理念を実現するために、理事者は常に新しい時代に対応する経営基盤を確かなものとするに尽力し、職員は直接サービスを受ける人々に接する人材としてその職責に対する意識を高め、専門性の習熟に努め、また開かれた施設としてサービスを受ける人々と地域の人々の心からの協力を得る努力を欠かさないことが大切である。

2 法人基本方針

①社会福祉法人村山苑の事業継続

種別（施設）毎に経営基盤の強化を図り収支バランス（経営分析等の実施）の適正化に努める。また、職員の育成（経験・専門性、技術、資質の向上等）に取組み、利用者の安全、安心、安寧に努めることで、法人全体の健全な経営を図り事業の継続へと繋げていく。

②社会福祉法人村山苑として地域貢献事業の実施

変化する制度に対応し、施設利用者のニーズに応えるとともに、地域が必要とする福祉サービスを敏感に察知し、種別間の協力をもって、誰ひとり取り残さない社会へと貢献する。

③社会福祉法人村山苑としてのSDGsの取り組み

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、2030年を年限として17の共通目標を提示している。村山苑としてもこの活動に積極的に取組んでいく事が必要と考え、この5か年では、主に、以下の目標に取り組む。

目標1「貧困をなくそう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救護施設の経営</li> <li>・ 「むらやまえん生活相談所」の経営</li> <li>・ 認定就労訓練事業及び「はたらくサポートとうきょう」事業実施</li> <li>・ 福祉事業センターでは「働く喜びをすべての人に」を目標に、高工賃の還元、一般就労への支援、定着支援</li> </ul>
目標3「すべての人に健康と福祉を」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ハトホーム診療所」の活用で地域医療に貢献</li> <li>・ 障害の有無にかかわらず、また入居者、入所者一人一人に合わせた福祉サービスの提供</li> <li>・ 健康診断や健康相談の実施と継続した関わり</li> </ul>
目標4「質の高い教育をみんなに」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新保育指針に沿った保育の実施</li> </ul>
目標5「ジェンダー平等を実現しよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援や介護支援等、働きやすい職場環境をつくる</li> <li>・ 障害者雇用の推進により組織の成長につなげる</li> </ul>
目標8「働きがいも 経済成長も」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい職場環境の提供、障害者雇用の推進により組織の成長につなげる</li> <li>・ ワークライフバランスに配慮（有給取得、時間外の削減）</li> </ul>
目標10「人や国の不平等をなくそう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域共生社会の実現を目指す組織として、法人内でも年齢、性別、障害、国籍に関わらず活躍できる環境を整える</li> <li>・ 虐待防止への更なる取り組み</li> </ul>
目標11「住み続けられるまちづくりを」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域共生社会の実現を目指す組織として、地域貢献事業の充実等更なる法人資源の活用を検討する (関係機関との連携、東村山市社会福祉法人連絡会・富士見町福祉施設連絡会等への参画)</li> <li>・ 地域での防災協力で“福祉避難所協定”や“応援協定”を締結</li> <li>・ 「むらやまえん生活相談所」による対象を限定しないお困りごと相談と経済的支援</li> </ul>
目標12「つくる責任つかう責任」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の中で、ものを大切に使うことを取り入れる</li> <li>・ 保育において食育の実施</li> </ul>

令和四年永年勤続者表彰

次の方が永年勤続の功績を表彰されました。おめでとうございます。今後益々のご活躍を期待しております。

勤続四十年

ふじみ保育園 山城一予

勤続三十年

ハトホーム 兼市琢磨  
ふじみ保育園 武藤純子  
つぼみ保育園 保田ゆみ

勤続二十五年

村山荘 沖吉浩一郎  
村山荘 長谷川和正  
さつき荘 万波万里子  
さつき荘 齋藤哲也  
第2ハトホーム 越村潤  
ひよし保育園 木村浩己

勤続二十年

ハトホーム 伊藤貴広  
ほんちよう保育園 幸田千香子  
ほんちよう保育園 鈴木輝美  
勤続十年  
村山荘 根本みどり  
村山荘 川久保幸子  
さつき荘 馬場和美  
ハトホーム 海老沼夏菜  
ハトホーム 加瀬江里子

ハトホーム	高橋明
ハトホーム	柏木義治
第2ハトホーム	飯島美香
福祉事業センター	根本佑貴
つぼみ保育園	三宅理花
つぼみ保育園	竹村麻子
つぼみ保育園	三津田浅美
つぼみ保育園	奥山充子
つぼみ保育園	廉澤敦美
ふじみ保育園	才原美智子
ほんちよう保育園	御園望美
ほんちよう保育園	久保誠子
ほんちよう保育園	酒井有里
ひよし保育園	安生祐子

勤続40年を迎えて

ふじみ保育園

山城一予

短大卒業後すぐに就職して、はや勤続四十年を迎えることが出来ました。村山苑が、七十周年を迎えますので、その半分以上の年月を村山苑と共に歩ませて頂いたことは感慨深く、とても誇りに思います。

戦後の混沌たる時代から今日まで、地域に寄り添い法人の歩みが続いているのは、先人たちの福祉にかける情熱と、たゆまない努力があったからこそだと思います。そして、村山苑の理念の根底にある「人間愛」を基に、命を

いづくし、世界平和を祈り、ともに豊かでありたいと、一つになり行動してきたことが実践に繋がっていったのだと思います。人の想いや信じる心は、志を強くし、その人々によって歴史は創られていくのだと思います。

私もその歴史のほんの一滴でいさせて頂き、四人の男の子を育てつつ、四十年間も勤続できたことは、先輩方の導きや仲間たちの支え、そして保護者の方々が暖かく応援して下さいたからだ、全てに感謝でしかありません。今は、地球全体が次々と未曾有の出来事にさらされ大変ですが、それぞれの世代が生命の輝きを見出せるよう、素晴らしき仲間と共に必要とする方々へ手を差し伸べ、歩み続けて行きたいと思えます。

勤続30年を迎えて

つぼみ保育園

保田ゆみ

採用面接をしたあの日から三十年の月日が経過した事に、驚きと今日まで仕事を続けてこれた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

私の始まりは、ふじみ保育園でした。先輩方についていくのに毎日必死でした。そんな私に先輩が「そんなに急がなくても良いんだよ、時がたてば経験は積み重なっていくから大丈夫。それよ今今は、若い貴方の感性を大切にしてね。子どもたちと年齢が一番近い貴方だ

勤続25年を迎えて

村山荘

沖吉浩一郎

から、子どもの気持がわかるんじゃない!!」とほほ笑んでくれました。そんな言葉をかけてもらい、肩の力が抜けた事をおぼえています。先輩から頂いた言葉は、私自身、後輩に伝えている言葉です。

今となつては、若さより経験が勝っています。後輩が何に悩み、何がわからないのかがわかる保育士になろうという目標と、出来る事をできる限り一生懸命取り組む為、初心を忘れることなく毎日を大切に過ごしていきたいと思えます。

村山苑に入職して二十五年が経ち、あつという間の日々でした。入職当時、施設長から「障害者の終の棲家として、少しでも家庭的な温かさを」という考えがとても私の心に響き、利用者に笑顔で喜んでもらえるような給食を提供しようと思えました。いろいろな事をスタッフのみんなと考え、意見が対立したり技術的、体力的に辛い事もありましたが、工夫しながらみんなで協力して提供してきました。辛かった時、利用者から「美味しかった。またお願いします。」と声をかけられた時に、心の奥から嬉しさを感じ、「ありがとうございませ。また出しますね。」と涙をこらえ、そう答えたのを今でも覚えていま



す。この時に感じた、やりがいや達成感が今のモチベーションを支えていると思います。

現在の救護施設は、入職当時とは考え方も変わってきており、今は利用者にとつて終の棲家ではありませんが、時代の変化に柔軟に対応しながら、あの時の思いを忘れず、少しでも利用者の皆さんに喜んでもらえるような給食を提供していきたいと思っています。

### 勤続25年を迎えて

さつき荘

万波 万里子

令和4年1月、勤続25年を迎えました。「25年」と改めて言葉にすると、とても長く感じますが、過ぎてしまえば「アツという間」「光陰矢の如し」でした。25年間、様々な形で多くの利用者さんと関わり、一緒に笑い、一緒に悩み：嬉しかったり楽しかったり悲しかったり怒られたり：1日が長くも短くも感じ：そんな日々の積み重ねの「25年」でした。

改めて、25年を振り返った際、新人当時に先輩職員から言われた言葉を思い出しました。「心は熱く 頭は冷たく」。心は利用者さんに寄り添い温かく、頭は常に冷静にと教えて頂きました。日頃、頭も熱くなってしまい、冷静さを欠き、反省する事が多いですが、25年を新たな出発点とし、「心は熱く 頭は冷たく」利用者支援に邁進してい

きたいと思っています。

最後に、紆余曲折しながらも25年間働いてこられたのは、どんな時も励まし支えてくれた仲間がいたからこそです。その事に感謝し、これからも支え合って、共に頑張っていきたいと思えます。

### 勤続20年を迎えて

ほんちよう保育園

鈴木 輝美

村山苑に就職してから20年が過ぎ、半年間病気でお休みいただきましたが、今はもうすっかり元気です。何事も乗り越えてきた20年間であつたと、感慨深く振り返ります。保育園の事務員として3園を経験して、保育士試験に挑戦しました。合格してみても、さあ何が変わったのであろうか。何も見える景色は変わりませんが、「学ぶ」こと

に向き合った時間が何よりも大切なのではないかと思います。結果よりもその途中でもがいて苦しんだ過程のすべてが自分の財産になっています。ほんちようでは、介護施設の事務を経験できたのも、大きな財産です。

毎年、季節ごとに種を撒き小さな種から大きく成長していく過程を楽しんでいます。花の香りに誘われてくるミツバチやカマキリを愛おしく思えるのです。保育園の子どもたちの成長を感じて、保護者の方々に寄り添えるように、これからも丁寧に注意深く考

ながら仕事に向き合っていこうと思えます。

### 勤続10年を迎えて

福祉事業センター

根本 佑貴

平成23年に村山苑に就職させていただき10年を迎えることができました。

福祉事業センターに勤務し、最初は日々の業務をこなすのがやっとで、利用者支援をすることに余裕がなかったのを覚えています。10年経った現在は、利用者さんの将来を見据えた支援ができるようにと、日々心掛けて毎日業務に励んでおります。

支援に迷ったときには、村山苑の基本理念の「生命の輝きを見出すことのできる福祉サービス」と福祉事業センターの基本方針の「働く喜びをすべての人に」という言葉を思い出し、働くことよって、利用者さんが生きがいや人生の楽しみを見つけ、充実した毎日を送れるためには何をすべきか、ということを考えながら、支援をすることを心がけています。

10年同じ施設で働いたことで、今まで見えていなかったことに気付くことも多くなってきましたので、今後は今まで以上に視野を広くして、自分自身を成長させていけるよう努力していきたいと思っております。

### 勤続10年を迎えて

ひよし保育園

安生 祐子

ひよし保育園、ほんちよう保育園で毎日充実した日々を過ごして10年が過ぎました。場所が変わっても担当するクラスが違っても変わらないのは、子どもたちの何かに夢中になる姿。興味を持って「何だろう」と目を向けたら「やってみよう」とする意欲はいつ見ても素敵です。何かを発見した時や、それを「見て！」と伝えてくれる時。友だちや年上の子の活動をじつと見ている時。おうちの方がお迎えに来た時。どれも子どもたちのその時の気持ちは表れています。子どもの興味や疑問に寄り添い見守っていくことで、あそびが拡がり、更なる意欲に繋がるのはどの年齢でも同じ。今、ひよし保育園でも一年間の保育で大切にしたい事をクラス毎に話し、みんなで進めています。保育者同士の語り合いを楽しむことで又、保育者の興味と意欲にも繋がっていくのだなと実感中。まだまだこれからも保育を楽しみ発見とともに分かち合いたいと思います。





令和四年度 事業計画

先ず、村山苑における経営の基本となる基本理念と、基本理念に基づく法人内各施設の基本方針、及び法人が規定する倫理綱領、行動規範の周知徹底を挙げておきたい。

一昨年度からの新型コロナウイルス感染症による影響は、ワクチン接種の実施、感染防止の徹底を図ってはきているが、未だ収束がわからない状況である。引き続き、3密を避け、マスクの着用、手洗い、消毒等の基本的な対策に十分心がけていく。感染症や災害の発生時を想定した事業継続計画（BCP）も見直し、より具体的な計画を策定する。

令和4年度は、法人創立70周年を迎える節目の年度である。昨年度から準備してきた記念誌を6月には発行し、法人役職員、ご家族や保護者等の関係者はじめ、関係各所や福祉の仕事に興味をもっていたる方にも手に取っていただけるようお配りする予定である。

また、今年度は昨年度策定した5か年にわたる法人の中期計画の実施初年度でもある。

ここ数年の課題である人材確保については、コロナ禍で対面による

求人活動の機会が減り、それを補う、オンラインによる説明会の実施や「LINE」等での応募者との確実な連絡手段の活用で少しずつ効果が出ていっていると思われる。尚一層、圏域内の高等学校や大学、養成校、特別支援学校などへの積極的な働きかけ、実習やインターシップ、体験に参加された人への働きかけを行っていく。定着については、法人として確立させたキャリアパス制度を、介護施設から導入する評価制度に運用し賃金体系へ連動させることで、より働き甲斐を実感できるものとして定着に繋げたい。さらに、育成部分では、特に管理者育成のシステムを構築することで、次期管理職育成のためのマネジメント研修などを計画する。

利用者支援については、虐待防止の取り組みはかなり浸透しているものの、引き続き「不適切な支援は虐待にあたる」という観点を持ち、職員自らの自己評価を行い、率直に話し合える職場環境づくりに取り組んでいく。苦情対応は、利用者からの意見・要望は「利用者の声」と捉え、出された内容には真摯に耳を傾け、

適宜、適切に対応をしていく。施設設備整備としては、中期計画に従って計画していく。今年度は、ほんちよう保育園・ほんちようケアセンターとさつき荘で外壁・防水等改修工事とハトホーム1階空調設備改修工事を計画している。

国際的な取組である「SDGs（持続可能な開発目標）」も積極的に法人全体で取り組んでいく。SDGsの思想の基本にあるのは、我々が今のような消費を続けていけば、地球環境は、人間にとっても、他の生物にとっても持続可能なものではなくなるという危機感と、あらゆる人々の人権を守るというふたつで、「地球を破壊から守ること」「誰一人取り残さないこと」を柱として掲げている。背景には、気候変動の影響が大きいこと、格差や不平等の拡大が世界全体を不安定にしていることがあるとされている。これを改めるには、変革が必要として、国際連合への加盟国193か国が達成を目指す2030年までの国際目標（17項目）として定めたのがSDGsである（2015年国連で採択）。国際目標17項目を「5つのP」で考える

と理解しやすいといわれている。① People（人間）、すべての人の人権が尊重され、平等に。貧困と飢餓を終わらせ、男女平等を達成し、すべての人に教育、水と衛生、健康的な生活を保障する。② Prosperity（豊かさ）、すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する。③ Planet（地球）、持続可能な消費と生活、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急対応などを通じ、地球の劣化を防ぐことにより、現在と将来の世代のニーズを支えられるようにする。④ Peace（平和）、平和、公正で、恐怖と暴力のない、すべての人が受け入れられ、参加できる包摂的な世界を目指す。⑤ Partnership（みんなが協力し合う）、世界の人々の連帯強化の精神に基づき、世界的な規模の協力関係により、実現を目指す。とある。このことを役員個々がきちんと理解し、できることから積極的な取り組みを始め、そして、法人施設を利用される利用者やご家族、保護者に伝え、行動への動機付けにつなぐことができれば、村山苑としてSDGsに対する社会福祉法人の役割が果たせるのではないかと思う。法人としては、目標1「貧困をなくそう」目標3「すべての人に健康と福祉を」目標4「質の高い教育をみんなに」目標5「ジェンダー平等を実現しよう」目標8「働きがいも 経済成長も」目標10「人や国の不平等をなく

ての人に教育、水と衛生、健康的な生活を保障する。② Prosperity（豊かさ）、すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する。③ Planet（地球）、持続可能な消費と生活、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急対応などを通じ、地球の劣化を防ぐことにより、現在と将来の世代のニーズを支えられるようにする。④ Peace（平和）、平和、公正で、恐怖と暴力のない、すべての人が受け入れられ、参加できる包摂的な世界を目指す。⑤ Partnership（みんなが協力し合う）、世界の人々の連帯強化の精神に基づき、世界的な規模の協力関係により、実現を目指す。とある。このことを役員個々がきちんと理解し、できることから積極的な取り組みを始め、そして、法人施設を利用される利用者やご家族、保護者に伝え、行動への動機付けにつなぐことができれば、村山苑としてSDGsに対する社会福祉法人の役割が果たせるのではないかと思う。法人としては、目標1「貧困をなくそう」目標3「すべての人に健康と福祉を」目標4「質の高い教育をみんなに」目標5「ジェンダー平等を実現しよう」目標8「働きがいも 経済成長も」目標10「人や国の不平等をなく

そう」目標11「住み続けられるまちづくりを」目標12「つくる責任つかう責任」を主に取り組む。

## 1. 法人本部位制

令和3年は、無事に、役員の変更と改正社会福祉法が施行されてから初めての評議員の改選、会計監査人の選任もなされた。法人として、引き続き高度な公益性と非営利性を兼ね備えたガバナンスによる内部統制の整備・運用の実施や事業運営の透明性確保のための適正な財務諸表の開示を行っていく。

社会福祉法人に求められている「地域における公益的な取組」は、既に参画している東村山市社会福祉法人連絡会での活動や法人内各施設での取り組みに加え、属性を問わない、参加支援を空きスペース等の活用を具体的に検討、実施に向けた取り組みをしていきたい。

法人の事務体制は、社会保険の一括適用も一昨年に適用し、諸々の行政庁への電子申請も進めており、施設担当者と情報を密にして共有しながら更なる業務効率化を推進していく。

## 2. 介護保険事業

足掛け4年の月日をおかけた第2ハトホームの施設整備が完了し、東村

山市富士見町の同じ敷地内で「ハトホーム」「第2ハトホーム」の2施設による運営体制が始まった。それぞれにショートステイ事業を併設している。人員配置が1園であった時よりも増え、事業活動収入比で平均78%前後になっている人件費や施設整備のための負担もあり、ここ数年は資金収支及び当期資金収支において赤字が続いている。稼働率を上げることで、より多くの加算の取得等の工夫と共に、小さな経費節減や発想の転換による工夫で少しでも赤字を小さくするようにすることが、事業継続の大前提である。ハトホーム

在宅サービスは、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、利用者確保がかなり難しいため、引き続き休止をする。ほんちようケアセンターは、昨年度地域的に利用希望者が多いことから定員を5名増員し、利用者は増えてきている。機能訓練指導員の配置が可能となるので、こうしたサービスの提供によりサービス活動の充実も図りたい。

それぞれ、利用者サービスにおいては、常に点検して質の向上を図り、虐待防止体制の検証を確実に、職場内研修も継続していきたい。

## 3. 生活保護施設事業

改正生活保護法に基づき、新たに

創設された日常生活支援住居施設は、都内でも39施設(2021.9時点)が認定されている。救護施設としての役割分担を明確にし、また連携していくことを考えたい。救護施設としては、利用者の自立の可能性を、より専門的な対応を意識した個別支援計画を策定し、それに基づいた具体的な支援を実施して、役割を果たしていきたい。具体的には、村山苑の2施設が、積極的に地域社会におけるセーフティネット施設の役割を果たすため、個別支援計画に基づき、利用者の地域生活移行支援の強化と、他種別施設への移管に積極的に取り組み、循環型の施設としての機能を強化していくことである。また、むらやまえん生活相談、中間的就労等、法人で進めている地域貢献事業にも、救護施設が中心になって推進していきたい。

## 4. 保育事業

保育4園が共通の「たくましく」の保育目標の下、「すべての子ども・子育て家庭を対象に幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育ての質・量の拡充を図る」とする法の趣旨に添い、時代が要請する新たなニーズにしっかりと向き合っていく。今年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して、新しい生活様式

の中で可能な限り、子どもたちが健やかに成長出来る保育を実施する。保育の質の確保と向上への取り組みが保育士等のキャリアアップに繋がりを、また、求められている地域の子育て支援の核になっていくことに繋がる。

既に導入しているICTの活用幅を広げていき、保護者との連絡に活用し、かつ、業務の効率化を図ることで、保育従事者の確保、定着にも繋げたい。

## 5. 障害福祉サービス事業

昨年度は、就労継続B型支援の就労収入は新型コロナウイルス感染症の影響による減収がなく、一人当たりの工賃額が前年度を上回り、高工賃還元ができた。また、就労移行支援においても定員の50%以上の就労が達成できた実績から、就労定着支援を含め、福祉事業センターとしては収益増額となる。今年度は、更に各支援(就労移行、就労継続B型及び就労定着支援)間の連携を強化し、きめ細やかな利用者支援を行っていく。障害者委託訓練も、地域の障害者の為に引き続き継続していく。





# 施設通信

ハトホーム

「事務所レイアウトの

変更について」

施設長 兼市 琢磨

ハトホームの事務所は、2年半程前に、第2ハトホームと分割されてから、既存部分に法人本部とハトホームの事務関係、サービスタイト主任。近くの相談室に相談員、ケアマネジャーが移りました。その間、事務所は、衝立と書庫に挟まれ、出勤する職員の顔を見ることがなく『おはようございます!』『お疲れ様です』という状況でした。又、相談室も狭い空間の中で『密』そのもの、更にエアコンの調子も悪く、夏は暑く、冬は寒く、厳しい環境下で業務を行ってききました。

機能訓練指導員については、一人での食事や記録をしたりと『寂しい?』状況でした。そこでみんな一緒になりましょう! ということ。デスクや書庫の移動、変更等、初めは1日で終わるかな? と不安でしたが、終わってみれば、あつと



いう間に半日で終わってしまいました。

今迄ここにあったものがどこへ行ったのかな? 皆さんは戸惑ったり、他部署、他施設から事務所に入ってくる方々の『あれっ』という顔をしばらくは見ることになるでしょう。この号が出る頃には、そんなこともなくなっていると思いますが、以前のように全職種が同じフロアの中で協力し合いながら、明るく楽しく頑張っていければと思います。ゆつたりとした観葉植物もある癒しの空間? リニューアルしたハトホーム事務所へのご来園、お待ちしております。

## 第2ハトホーム

「感謝」

施設長 岡野 雅和

第2ハトホームの建物が完成し、清瀬の代替施設から戻ってきてから1年が経ちます。2年以上に及ぶコロナ禍は、ご家族や来園者の訪問にも制限を設けざるを得ないという影響を及ぼし、施設内におけるボランティア活動の受け入れもしづらい状況が続いています。そのような状況の中で、施設内には入らずに作業ができる活動に多くのボランティアさんに協力をして頂いております。主に施設周辺の環境整備となりますが、職員が疎かになってしまっていることに力をお貸しいただき職員一同心より感謝しております。

除草作業を中心に樹木や草花などの景観を守ってくれているSさん、Kさん、垣根の剪定を中心に地域住民の方々への配慮に力を注いでくださるTさん、落ち葉掃きや芝刈りなどきれいな庭を維持してくれている他、村山苑の敷地全体もきれいにしてくれているSさん、窓が多い第2ハトホームのガラス清掃をしてくださっているNさん、Kさん、いつもありがとうございます。

感染対策に努める日々はこれからも続きますが、いつか入居者の皆様との交流もできる日がやって来ることを楽しみにしております。





苦情解決第三者委員  
訪問実績

苦情受付状況を年度の前期と後期に分けてホームページで公開し、第三者委員に報告しています。令和三年度の第三者委員の施設訪問実績は、左記のとおりです。

- ▼ハトホーム 令和3年9月28日  
令和4年3月15日
- ▼第2ハトホーム 令和3年9月28日  
令和4年3月15日
- ▼ほんちようケアセンター 令和3年7月13日  
令和3年12月14日  
令和3年7月13日  
令和3年7月21日  
令和3年10月25日
- ▼村山荘 令和3年7月13日  
令和3年7月13日  
令和3年7月21日  
令和3年10月25日
- ▼さつき荘 令和3年6月7日  
令和3年10月4日
- ▼福祉事業センター 令和3年7月21日  
令和3年10月25日

**苦情解決  
第三者委員**

任期 令和3年4月1日～  
令和5年3月31日



丹澤 育子



田村 均

【資格取得者】

次の方々が新しく資格を取得されました。おめでとうございます。日々の業務に活かされ、ご活躍を期待しております。



- ▼つばみ保育園 令和3年6月18日  
令和3年11月2日
- ▼ふじみ保育園 令和3年6月18日  
令和3年11月2日
- ▼ほんちよう保育園 令和3年7月13日  
令和3年12月14日  
令和3年6月16日  
令和3年12月22日
- ▼ひよし保育園 令和3年12月22日

社会福祉施設長資格認定講習課程  
法人本部 杉山 陽子

介護福祉士

- 村山荘 西村 真由美
- ほんちようケアセンター 岡村 菜穂
- ほんちようケアセンター 種岡 真紀

調理師

- ひよし保育園 林 さつき

村山苑が経営している施設

- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-5  
●法人本部 ☎042-3933-8496
- むらやまえん 生活相談所 ☎042-3133-0301
- 村山荘(救護施設) ☎042-3911-262
- ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎042-3933-7574
- 第2ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎042-3062-2320
- 福祉事業センター(障害福祉サービス事業) ☎042-3953-3636
- ふじみ保育園(保育所) ☎042-3941-9936
- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-8-2  
●さつき荘(救護施設) ☎042-3962-2244
- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-2-2  
●つばみ保育園(保育所) ☎042-3993-6400
- 〒189-0014 東京都東村山市本町3-43-1  
●ほんちよう保育園(保育所) ☎042-3999-2100
- ほんちようケアセンター(高齢者施設) ☎042-3999-2102
- 〒185-0003 東京都国分寺市戸倉2-27-6  
●ひよし保育園(保育所) ☎042-8431-0202

あとかぎ

新緑の心地よい季節となりました。桜の季節は年度末年度初めの慌ただしさと共に過ぎ去った様に感じます。新しい環境でスタートされた方も多いのではないのでしょうか。別れと出会いの季節からあつという間にひと月が経ちました。

村山苑は、令和四年度に創立七十周年を迎えます。地域に根差した法人として、更なる安定した法人運営を継続していくため、法人の取り組みべきことを示した「道しるべ」とも言える中期計画を策定いたしました。また、今号は永年勤続表彰された方々の記事を掲載しております。法人職員の平均勤続年数は十二・三年と長く、これからも働きやすい優しい職場でありたいと思います。引き続き、皆様のご支援のほど宜しくお願いいたします。

表紙の写真  
「駒ヶ岳」

提供者 H・A

本誌は本人同意のもとに写真・作品等を掲載しております。

\* \* \*  
ご意見・ご感想等お気付きの点がございましたら、左記へお寄せ下さい。

令和四年五月吉日 発行  
東京都東村山市富士見町二七―五  
社会福祉法人 村山苑  
発行者 品川 卓正  
印刷所 東京都同胞援護会事務局  
東京都墨田区両国四―一―八